

III. 総 目 次 (第1巻~第20巻)

第1巻 第1号 (1965. 6)

- <創刊の辞>(山田雄三)
 <論文>
 社会保障の経済学(大熊一郎)
 社会保障における年金制度の問題点(高橋 武)
 アメリカの貧困問題(中鉢正美)
 理論社会学と応用社会学(青井和夫)
 <研究会ノート>
 厚生行政の課題——経済、社会の変動にいかに対処すべきか(網野 智)
 <資料>
 北欧諸国における社会保障費10年の歩み(小沼 正)
 昭和39年度児童(家族)手当制度基礎調査結果の概要(秋本国男)
 社会保障研究所の設立経過について(木村又雄)
 <書評>
 国際連合経済社会局編『世界の経済開発と社会開発』(富永健一)
 国立公衆衛生院編『公衆衛生の進歩と展望』(福武 直)
 C. クラーク、G. ストウフェル編『所得再分配と経済政策の統計的基礎』(貝塚啓明)
 国民経済調査会編『所得決定モデル』(地主重美)
 <基礎統計>
 <社会保障研究所日誌>

第1巻 第2号 (1965. 9)

- <巻頭言>
 社会保障研究所に期待する(今井一男)
 <論文>
 福祉国家の価値体系(武藤光朗)
 日本における社会保障制度と所得の再分配——一つの試み(久保まち子)
 地域開発における「地域」の検討(松原治郎)
 スウェーデンの社会保障制度——年金保険制度を中心として(平石長久)
 <研究会ノート>
 昭和40年度研究プロジェクト
 厚生年金保険法の改正について(中野徹雄)

<資料>

- 大原社会問題研究所編『日本社会事業年鑑』について(吉田久一)

厚生行政基礎調査について(小沼 正)

平均余命(前田正久)

<書評>

- 厚生省大臣官房企画室編『地域開発における社会開発の策定に関する研究』(宮本憲一)

今井一男、佐口卓編『社会保障の理論と課題』(小山路男)

国民経済調査会編『所得分配のビヘービア』(小野 旭)

M. S. ゴードン編『福祉政策の経済学』(地主重美)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第1巻 第3号 (1965. 12)

<巻頭言>

わが愛する書のおもい出(長沼弘毅)

<論文>

社会開発と人口要因(安川正彬)

社会病理学的研究の立場——社会問題の基礎理論(大橋薰)

アメリカにおける公衆衛生・医療制度小史(橋本正巳)

ニュージーランドの社会保障——主として年金制度について(平田富太郎)

<資料>

大都市近郊における高齢者とその子女(森岡清美・笹倉幸子)

生活指標調査(保坂哲哉)

協調会と社会政策時報(美濃口時次郎)

<研究会ノート>

社会学的にみたノルウェーの福祉政策——グレンセス教授講義要旨

特別合同研究会報告——福祉国家論をめぐる問題

<書評>

丸尾直美著『福祉国家の経済政策』(加藤 寛)

福武直編『地域開発の構想と現実』(三浦文夫)

P. クーシ著『フィンランドにおける60年代の社会政策』(谷 昌恒)

トニー・リインズ著『国民扶助と国家繁栄』(田中 寿)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第1巻 第4号 (1966. 3)

<巻頭言>

社会保障の守備範囲(末高 信)

<論文>

社会保障の財源(高橋長太郎)

分配・再分配に関する実証上の論点(松尾 均)

イギリス社会保険の形成過程(小山路男)

経済成長と物価水準(塩野谷九十九)

<資料>

国際社会事業会議について——その1(谷 昌恒)

社会計画における児童青少年問題——ユニセフ・アジア

会議の資料について(山田雄三・保坂哲哉)

昭和41年度厚生省予算について(三浦正夫)

<研究会ノート>

労災保険制度の改革とその諸問題(田中清定)

<書評>

「労働」と「社会保障」の法理論

小川政亮・蓼沼謙一編: 岩波講座「現代法」第10巻『現代法と労働』(吾妻光俊)

社会福祉に関する概論書について

木田徹郎著『社会福祉概論』、一番ヶ瀬康子著『社会福祉事業概論』、日本社会事業研究会編『社会福祉事業概説』(三浦文夫)

I. イエロウイツツ著『労働階級と革新主義運動』、C. チェインバース著『改革の播種期』(谷 昌恒)

J.A. ポンシオエン著『社会変動分析の再検討』(中村八朗)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第2巻 第1号 (1966. 6)

<巻頭言>

「最低限度の生活」ということ(大内兵衛)

<1周年記念講演>

『福祉開発』の意義と条件(蠟山政道)

<論文>

社会保障の体系化をめぐって(江見康一)

社会保障体系化への社会的要請とその限界(森 健一)

フランスの社会保障——家族手当制度を中心として(上村政彦)

<資料>

社会保障の体系と社会保障制度審議会(谷 昌恒)

国際社会事業会議について——その2(三浦文夫・花島政三郎)

<研究会ノート>

昭和41年度研究プロジェクトの概要

年金積立金の運用について(出原孝夫)

<書評>

富永健一著『社会変動の理論——経済社会学的研究』(向井利昌)

L. ソルトウ著『ノルウェーにおける所得均等化』(地主重美)

エドウィン・E. ウィッテ著『社会保障法史』(平石長久)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第2巻 第2号 (1966. 9)

<巻頭言>

国際比較(中山伊知郎)

<論文>

社会開発と社会福祉(嶋田啓一郎)

社会開発の視点からみた社会福祉(三浦文夫)

経済学からみた社会福祉(丸尾直美)

スウェーデン社会福祉発達史素描(一番ヶ瀬康子・小野寺百合子)

<資料>

国際社会事業会議について——その3(三浦文夫・花島政三郎)

国民年金法の改正について(浜田洋一)

<研究会ノート>

社会福祉の現状とその動向(穴山徳夫)

<書評>

佐藤進著『健康保険組合論』(角田 豊)

大河内一男先生還暦記念論文集刊行委員会編:『社会政策学の基本問題』(古賀比呂志)

社会政策学会年報第13集『社会保障と最低賃金制』(浦辺史)

J.G.M. ヒルホースト著『独占的竞争、技術進歩と所得分配』(長谷川啓之)

M.N. ザルド編『社会福祉制度論』、J. ファーンデイ儿編『社会福祉の動向』(谷 昌恒)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第2巻 第3号 (1966. 12)

<巻頭言>

陳腐化と保障(馬場啓之助)

<論文>

社会保障における保険原理(近藤文二)

社会保障の理念と保険の原理(庭田範秋)

わが国における社会保険の問題点(小山進次郎)

カナダの児童手当制度と問題点(島田とみ子)

<社会保障研究奨励賞懸賞論文>

選考経過

入選1席:「わが国社会保障の将来について」——とくに

老齢保障を中心に(横山和彦)

<資料>

国民健康保険実態調査について(藤 卓雄)

<研究会ノート>

労働者家族における児童養育費の研究(I)——家族周期からみた生活構造の分析を中心に(森岡清美)

労働者家族における児童養育費の研究(II)——家族周期からみた家計構造の分析を中心に(前田正久)

<書評>

東京大学社会科学研究所調査報告第7集『都市における被保護層の研究』(小沼 正)

村上清著『企業年金と社会保障の課題』(渕脇 学)

H. コリア著『人的資源の経済学』, OECD刊『教育のエコノメトリックモデル』(都村敦子)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第2巻 第4号 (1967. 3)

<巻頭言>

人間性の二重構造(寺尾琢磨)

<論文>

法制面からみた社会保障(菊池勇夫)

法制面から見た社会保障(角田 豊)

現代社会の下層階級についての社会学的一考察(向井利昌)

<社会保障研究奨励賞懸賞論文>

入選2席:「医療保障の将来について」(榎本貴志雄)

<資料>

ILO条約にみる老齢、廃疾または扶養者の死亡に対する所得保障(有国和子)

社会保障法の展開——菊池勇夫博士の研究をたどって

(上村政彦)

<研究会ノート>

社会保障と所得再分配効果(地主重美)

<書評>

近藤文二著『社会保障の歴史』(篠原 恒)

佐口卓著『日本の医療保障』(小川喜一)

大橋薰編『社会病理学』(真田 是)

S. クズネツ著、山田雄三・長谷部亮一訳『戦後の経済成長』(塩野谷祐一)

C. A. アンダーソン、M. J. ボーマン編『教育と経済開発』(渡辺益男)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第3巻 第1号 (1967. 6)

<巻頭言>

行政と研究(山田雄三)

<論文>

社会保障の最低基準——公的扶助・社会福祉事業の論点をめぐって(小倉襄二)

わが国戦後における最低生活費研究の系譜(小沼 正)

イギリスの公的扶助制度(田代不二男)

<特別寄稿>

エセックス大学の国際貧困セミナーに出席して(平 恒次)

<資料>

昭和42年度厚生省予算について(山口新一郎)

<研究会ノート>

政策研究の基本的態度について(小山路男)——山田論文へのコメント(山田雄三)

昭和42年度研究プロジェクトの概要

アメリカ社会保障の展開——35年法に至る(谷 昌恒)

コミュニティ・デベロップメントの概念と問題——コミュニティ・デベロップメントの発想とその内容を中心に(三浦文夫)

<書評>

R. M. ティトマス著、谷昌恒訳『福祉国家の理想と現実』(嶋田啓一郎)

小谷義次著『福祉国家論』(石崎唯雄)

松原治郎・副田義也編『福祉社会学』(佐々木交賀)

フィリップ・ケイガン著『年金プランの総体貯蓄に及ぼす効果: 一つのサンプル調査からの立証』(江見康一)

J. バーネット著『豊富と欠乏——1815年から今日までのイギリスにおける食物の社会史』(石畠良太郎)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第3巻 第2号 (1967. 9)

<巻頭言>

社会保障と公衆衛生(曾田長宗)

<論文>

公衆衛生の歴史的発展の課題(橋本正巳)

地方衛生行政の問題点——市町村と住民の保健(東田敏夫)

北欧の公衆衛生、医療制度(吉田寿三郎)

<資料>

占領政策下の福祉政策——GHQの覚書を中心に(谷 昌恒)

<研究会ノート>

経済計画の変遷と社会保障(都村敦子)

経済指標、社会指標および地域指標の活用に関する理論的・実証的研究(前田正久)

<書評>

M.S. ゴードン著、地主重美・向井利栄訳『社会保障の経済分析』(久保まち子)

日本社会事業大学編『戦後日本の社会事業』(岡村重夫)

H.E. クラーマン著、大村潤四郎・江間時彦訳『保健と医療の経済学』(地主重美)

D. ペエイジ、K. ジョーンズ著『イギリスにおける1975年の保健・福祉サービス』(谷 昌恒)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第3巻 第3号 (1967. 12)

<巻頭言>

社会保障の周辺(大河内一男)

<論文>

イギリス労働党と社会保障(小川喜一)

ソ連における社会学の発達と社会保障の展望(安積銳二)

現代の最低生活水準(中鉢正美)

アメリカにおける公的扶助の最近の動向(仲村優一)

<第2回社会保障研究奨励賞授賞論文>

選考経過

<資料>

米国の老齢者健康保険(江間時彦)

WHOの最近の動向(斎藤勇一)

<研究会ノート>

占領下における社会福祉の概要——ネフ論文を中心

(村山冴子)

<書評>

日本法社会学会編『社会保障の権利』(佐藤 進)

日本経済調査協議会編『社会保障制度の再検討』(吉田秀夫)

福武直著『日本農村の社会問題』(渡辺益男)

O. エクスタイン編『所得維持の経済学論集』(地主重美)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第3巻 第4号 (1968. 3)

<巻頭言>

社会福祉について(木村忠二郎)

<論文>

健康保険組合論(与田 桢)

企業年金の諸問題(村上 清)

英国における「国民扶助」の位置と適用状況(江口英一)

<資料>

戦後の社会保障をめぐる新聞論調と世論(花島政三郎)

<研究会ノート>

農村家族における児童養育費の研究(I)——家族周期からみた生活構造の分析を中心に(森岡清美)

農村家族における児童養育費の研究(II)——家族周期からみた家計分析を中心に(前田正久)

農村家族における児童養育費の研究(III)——栄養分析を中心に(長嶺晋吉・磯部しづ子・山川喜久江)

<書評>

国民健康保険中央会基本問題調査会『国民健康保険の将来』(平石長久)

OECD 編『低所得層とその諸問題に対する方策』(小沼正)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第4巻 第1号 (1968. 6)

<巻頭言>

それでも社会保障は前進する(有澤廣巳)

<論文>

財政硬直化論と社会保障(江見康一)

社会保障と財政政策(肥後和夫)

財政的側面からみた生活保護基準引上げの諸問題(佐藤吉男)

福祉国家、社会福祉と資本の論理(孝橋正一)

＜欧文抄録＞

昭和43年度厚生省予算について(金田一郎)

＜研究会ノート＞

保健・医療サービスの経済分析(都村敦子)

昭和43年度研究プロジェクトの概要

＜人と業績＞

エド温・ウィッテの生涯(谷 昌恒)

＜書評＞

社会保障の概説書(谷 昌恒)

老人福祉に関する最近の著作——大道安次郎著『老人社会学の展開』を中心に(三浦文夫)

Ch. ソウアー, J. ホランド, K. ティーク, W. フリーマン著『地域住民の協同関与——協同活動に至る公私諸関係の繋がり』(中村八朗)

＜社会保障統計＞

＜社会保障研究所日誌＞

＜欧文抄録＞

第4卷 第2号 (1968. 9)

＜巻頭言＞

社会保障とソーシャル・ワーク(若林龍夫)

＜論文＞

雇用問題の発展と社会改革(梅村又次)

社会保障運動に関する若干の問題(下田平裕身)

人口変動からみた社会保障の課題(岡崎陽一)

生活保護の問題点——最近の関係論文をめぐって(小沼正)

＜資料＞

児童の養育費——昭和42年度児童手当制度基礎調査結果報告(厚生省大臣官房企画室)

社会福祉担当閣僚国際会議について(斎藤勇一)

＜研究会ノート＞

高齢者就労状況の一事例——東京都社会福祉協議会、高齢者無料職業紹介所の場合(三浦文夫)

＜人と業績＞

チャールズ・ブース(石田忠)

＜書評＞

グリーン, ch. 著『負の所得税と貧困問題』(地主重美)

国連経済社会局編『1965年世界社会情勢報告』(渡辺益男)

I. トメシ著『老齢年金—受給資格条件』(平石長久)

＜社会保障統計＞

＜社会保障研究所日誌＞

第4卷 第3号 (1968. 12)

＜巻頭言＞

社会保障の権利意識(菊池勇夫)

＜論文＞

社会体制と社会保障——とくにナショナル・システムとしての社会保障(山田雄三)

社会体制と社会保障(北川隆吉)

福祉国家の形成(谷 昌恒)

社会保障と企業内福祉・労働者福祉(黒住 章)

＜第3回社会保障研究奨励賞論文の審査選考について＞

＜資料＞

疾病保険に関する ILO 第24号および25号条約の改正について(宮嶋 剛)

＜研究会ノート＞

北欧諸国における社会保障費の歩み——1948—64年——(小沼 正)

＜人と業績＞

ウィリアム・ベヴァリジ(地主重美)

＜書評＞

松原治郎著『日本の社会開発』(伊藤善市)

フィリップ・M. ハウザー著, 伊部英男訳『人口爆発と都市集中』(安川正彬)

近藤文二編『社会保障入門』(中鉢正美)

＜社会保障統計＞

＜社会保障研究所日誌＞

＜欧文抄録＞

第4卷 第4号 (1969. 3)

＜巻頭言＞

老人福祉への願い(渡辺 定)

＜論文＞

老人福祉施策の策定をめぐる問題(森 幹郎)

老人問題とその対策についての若干の問題点(三浦文夫)
階級, 貧困, 対策(平 恒次)

＜資料＞

イギリス保健・社会保障省『国民老齢退職年金と社会保険——所得関連の社会保障の提案——』(抄訳)

児童手当懇談会「児童手当に関する報告」について(近藤 功)

＜研究会ノート＞

わが国の老人福祉対策の展開に関する覚書(三浦文夫)

- 老人就労をめぐる諸問題(村山冴子)
 <書評>
 森幹郎訳編『福祉国家・北欧』(I)(II)(III)(谷 昌恒)
 籠山京, 江口英一, 田中寿共著『公的扶助制度比較研究』
 (三和 治)
 I. アーデルマン, C.T. モリス著『社会, 政治, 経済発展: 数量的接近』(都村敦子)
 <社会保障統計>
 <社会保障研究所日誌>
 <欧文抄録>

第5巻 第1号 (1969. 6)

- <巻頭言>
 Beveridge 略伝(園 乾治)
 <第2回社会保障研究所シンポジウム 第1部>
 政治体制と社会保障——民主主義をめぐって(福田歓一)
 法秩序における社会保障(角田 豊)
 コメント(綿貫譲治)
 コメント(大熊一郎)

<第2回社会保障研究所シンポジウム 第2部>

- 社会保険と社会サービス(高橋 武)
 社会保険と社会サービス(庭田範秋)

- コメント(近藤文二)
 コメント(仲村優一)

あとがき

- <資料>
 昭和44年度厚生省予算について(新谷鉄郎)

<研究会ノート>

- 階層別所得再分配の実態——42年度所得再分配調査による(斎藤正明)

昭和44年度研究プロジェクト

<人と業績>

ウェッブ夫妻(小山路男)

<書評>

- 高橋武著『国際社会保障法の研究』(小川政亮)
 山田雄三著『社会保障研究序説』(高橋長太郎)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第5巻 第2号 (1969. 9)

- <巻頭言>
 国庫負担と受益者負担(鈴木武雄)
 <論文>

- 地方行政と国民健康保険(中村正文)
 地方自治と社会福祉(岡村重夫)
 低所得層の変貌と保護基準(籠山 京・鈴木佐紀)
 自由=社会改革とナショナル・ミニマム(伊部英男)
 <資料>
 昭和41年生活総合調査——第1次・第2次発表から(前田正久)
 <研究会ノート>
 年金財政の計量モデル(松本浩太郎)
 <書評>
 最近の社会保障の概説書(谷 昌恒)
 C.A. バレンタイン著『文化と貧困: 批判と対案』(花島政三郎)
 <社会保障統計>
 <社会保障研究所日誌>
 <欧文抄録>

第5巻 第3号 (1969.12)

- <巻頭言>
 社会保障の中の労働災害(有泉 亨)
 <論文>
 いわゆる労働保険の問題点(近藤文二)
 労災補償法と労働安全(藤本 武)
 雇用政策の推進と失業保険——生存権・労働権保障理念の後退(坂本重雄)
 community における社会変動と community work (雀部猛利)
 <資料>
 失業保険制度における現状の問題点と法改正について(江田 茂)
 <研究会ノート>
 地方小都市における常用勤労者家族の児童養育費の研究(I)——家族周期からみた生活構造の分析を中心に(森岡清美)
 地方小都市における常用勤労者家族の児童養育費の研究(II)——家族周期段階を軸とした家計分析(前田正久)
 地方小都市における常用勤労者家族の児童養育費の研究(III)——栄養分析を中心として(長嶺晋吉・磯部しづ子・山川喜久江)
 <人と業績>
 シーポーム・ラウントリー(小沼 正)
 <書評>
 小山路男著『現代医療保障論』(小山進次郎)
 A.J. ヤングソン著『間接資本—開発の経済学に関する

一研究』(長谷川啓之)
 <第4回社会保障研究奨励賞授賞論文>
 選考経過
 <社会保障研究所日誌>
 <欧文抄録>

第5巻 第4号 (1970. 3)

エドウィン・チャドウィック(橋本正巳・前田信雄)
 <書評>
 荒木誠之著「社会保障法」(佐藤 進)
 V. ジョージ著「社会保障: ベヴァリジ以後」(山崎泰彦)
 <社会保障統計>
 <社会保障研究所日誌>

<巻頭言>
 新春雑感(大内兵衛)
 <論文・1960年代社会保障の展開>

総論(山田雄三)
 1960年代の医療問題(小山路男)
 1960年代の年金問題(地主重美)
 1960年代の公的扶助(小沼 正)
 1960年代の社会福祉(三浦文夫)
 1960年代の公衆衛生(橋本正巳)
 1960年代の国際動向(平石長久・保坂哲哉)

<資料>
 社会保障年表(昭和42~44年)
 1960年代社会保障関係文献目録
 <社会保障統計>
 <社会保障研究所日誌>

第6巻 第1号 (1970. 6)

<巻頭言>
 医療観念の拡充(東畑精一)
 <第3回社会保障研究所シンポジウム 第1部>
 社会保障における計画的視点(山田雄三)
 コメント(高橋長太郎)
 コメント(中鉢正美)
 コメント(青井和夫)

<第3回社会保障研究所シンポジウム 第2部>
 医療保障の体系化(大村潤四郎)
 医療保障の水準と類型(藤澤益夫)
 コメント(橋本正巳)
 コメント(小山路男)
 コメント(中村正文)

<資料>
 昭和45年度厚生省予算について(山本純男)
 <研究ノート>
 新経済社会発展計画について(持永和見)
 昭和45年度研究プロジェクト
 <人と業績>

第6巻 第2号 (1970. 9)

<巻頭言>
 社会福祉と人権尊重(中川善之助)
 <論文>
 公私社会事業の関係(阿部志郎)
 社会福祉における公私問題(谷 昌恒)
 近代化への準備段階における日本の経験の社会的側面
 (保坂哲哉)
 <資料>
 第14回国際社会福祉教育会議のハイライト(若林龍夫)
 <研究会ノート>
 「ソーシャル・リポートに向って」“TOWARD A
 SOCIAL REPORT”(合衆国保健教育福祉省)——ア
 メリカにおけるソーシャル・インディケーターズの試
 み(菊池貞夫)

<人と業績>
 オット・フォン・ビスマルク(大陽寺順一)
 <書評>
 籠山京著『低所得層と被保護層』(小沼 正)
 平石長久著『インド社会保険の史的考察』(内野仙一郎)
 <社会保障統計>
 <社会保障研究所日誌>
 <欧文抄録>

第6巻 第3号 (1970. 12)

<巻頭言>
 ソ連経済的印象(塩野谷九十九)
 <論文>
 西ドイツ社会扶助制度の基準引上げと日本の場合(籠山
 京)
 イギリス公的扶助の歩み(小沼 正)
 老人福祉70年代の宿題(森 幹郎)
 <資料>
 生活保護(藤井 康)
 <研究会ノート>

- イギリスにおける老人福祉の状態——Nuffield Foundation の調査委員会報告の紹介を中心に(遠藤 滋)
 <書評>
 岡村重夫著『地域活動研究』(花島政三郎)
 孝橋正一著『社会科学と社会事業』(三浦文夫)
 <社会保障統計>
 <社会保障研究所日誌>

第6巻 第4号 (1971. 3)

- <巻頭言>
 民生委員とエルバーフェルト制度(牧 賢一)
 <論文>
 ソ連における社会保障(鷲谷善教)
 東ドイツの社会保障(石本忠義)
 ハンガリー・ポーランドの社会保険(角田 豊)
 ユーボスラビアの社会保障制度——とくに年金保険を中心として(平石長久)
 <資料>
 チェコスロバキアの社会保障(山崎泰彦)
 <研究ノート>
 ソ連の社会福祉(渡辺益男)
 <人と業績>
 ピエール・ラロック(上村政彦)
 <書評>

- G.F. ローリク編『1970年代のための社会経済学』(山田 雄三)
 最近の老人福祉関係著作について——那須宗一・湯沢雍彦編『老人扶養の研究』を中心にして(三浦文夫)
 <社会保障統計>
 <社会保障研究所日誌>
 <欧文抄録>

第7巻 第1号 (1971. 6)

- <巻頭言>
 医業と企業(近藤文二)
 <論文>
 医療保障における保険方式とサービス方式——イギリスを例証として(小川喜一)
 医療保障と予防給付(吉田秀夫)
 医療保障とリハビリテーション(栗原忠夫)
 <資料>
 昭和46年度厚生省予算について(下村 健)
 <研究ノート>

- 主要国の医療制度——11カ国の保健行政・病院制度の比較(前田信雄)
 昭和46年度研究プロジェクトについて
 <書評>
 ヨーロッパ共同体委員会編『社会保障の経済効果』(保坂哲哉)
 菊池勇夫著『社会保障法の形成』(佐藤 進)
 <社会保障統計>
 <研究会抄録>
 <社会保障研究所日誌>

第7巻 第2号 (1971. 9)

- <巻頭言>
 社会保障の原点(平田富太郎)
 <論文>
 コミュニティの諸問題——社会福祉と地方自治の接点として(松原治郎)
 コミュニティと医療(大村潤四郎)
 コミュニティと社会福祉(嶋田啓一郎)
 <資料>
 行政のコミュニティ・プラン(鈴木五郎)
 <研究ノート>
 国連社会開発研究所の福祉指数および開発指数の概要(曾原利満)
 <人と業績>
 グンナー・ミュルダール——福祉国家論をめぐって(山田雄三)
 <書評>
 ピーター・タウンゼント編『貧困の概念——諸国における貧困者の調査方法と生活様式に関する討議論文集』(小沼 正)
 H. E. クラーマン編『保健・医療経済学の実証的研究』(都村敦子)
 アルフレッド・J. カーン著『社会政策と社会計画の研究』,『社会計画の理論と実際』(高橋紘士)
 <第6回社会保障研究奨励賞授賞論文>
 <社会保障統計>
 <研究会抄録>

第7巻 第3号 (1971. 12)

- <巻頭言>
 社会開発の復権(福武 直)
 <論文>

社会保障と財政(橋本 徹)

コミュニティ・ケアと社会福祉(三浦文夫)

公的扶助とケースワークについて(竹村栄一)

社会保障審査制度の効用(國井國長)

〈資料〉

家計が負担する教育費の変動(伊藤秋子・佐々木淑恵・馬場紀子)

〈研究ノート〉

年金給付水準の国際比較(山崎泰彦)

〈書評〉

労働調査論研究会編『戦後日本の労働調査』、村山孝喜著・林知己夫監修『統計調査ハンドブック』(前田正久)

〈社会保障統計〉

〈研究会抄録〉

第7巻 第4号 (1972. 3)

〈卷頭言〉

“高福祉高負担”の正しい意味(鈴木武雄)

〈論文〉

企業と社会保障(桐木逸朗)

イギリス年金制度改革案について(村上 清)

企業の非物的分配機能——企業と社会保障との関連性についての一試論(向井利昌)

〈資料〉

地方小都市老齢者世帯の居住形態別分析

——世帯——(森岡清美)

——経済類型別老齢者生活費——(伊藤秋子・杉原由機・佐々木淑恵・馬場紀子)

〈研究ノート〉

スウェーデンのホームヘルパー制度(小野寺百合子)

〈書評〉

小谷義次著『アメリカ資本主義と貧困化理論』(中鉢正美)

フリーマン・H.E., シャーウッド・C.C.著『社会調査と福祉政策』(直井道子)

〈社会保障統計〉(曾原利満・大本圭野)

〈第7回「社会保障研究奨励賞」授賞要領〉

〈研究会抄録〉

〈社会保障研究所日誌〉

第8巻 第1号 (1972. 8)

〈卷頭言〉

社会福祉の課題(浦辺 史)

〈論文〉

経済法則と社会保障(松尾 均)

イギリスの社会保障の動向(三和 治)

西ドイツ社会保障の発展と変化(石本忠義)

米国の公的扶助における惰民観の構造(秋山智久)

〈資料〉

地方小都市における老齢者世帯の居住形態別分析

——家計——(曾原利満)

——栄養——(磯部しづ子)

〈研究ノート〉

昭和47年度厚生省予算について(朝本信明)

昭和47年度研究プロジェクト

〈書評〉

村上清著『インフレと年金制度』(地主重美)

〈社会保障統計〉(曾原利満・大本圭野)

〈研究会抄録〉

〈社会保障研究所日誌〉

〈欧文抄録〉

第8巻 第2号 (1972. 10)

〈卷頭言〉

老人問題への科学的アプローチ(小山 隆)

〈論文〉

老人の処遇について——養護老人ホームの実態を中心に(籠山 京)

今日の低所得層と世帯更生資金制度の方向(江口英一)

ホームヘルプサービス——歴史・現状・展望(森 幹郎)

就労と賃金(孫田良平)

〈資料〉

北欧諸国における社会保障費の歩み——とくに50年代と60年代との比較を中心として(小沼 正)

〈研究ノート〉

老人の生活構造 (I)——「東京都老人福祉基礎調査」の結果から(高橋紘士)

〈書評〉

R. M. ティトマス著、三浦文夫監訳『社会福祉と社会保障——新しい福祉をめざして』(角田 豊)

ラシ・フェイン著『医師不足: 経済的診断』(都村敦子)

〈社会保障統計〉(曾原利満・大本圭野)

〈研究会抄録〉

〈社会保障研究所日誌〉

〈欧文抄録〉

第8巻 第3号 (1972.12)

<巻頭言>

社会保障の将来の方向(松本征二)

<基調論文>

厚生年金を考える(高橋 武)

〔コメント I〕「生きた年金」への前進(村上 清)

〔コメント II〕「年金制度の考え方」について(i)
(角田 豊)〔コメント III〕「年金制度の考え方」について(ii)
(吉田秀夫)

〔総括〕年金制度の問題点と対策(地主重美)

<資料>

医療需要予測に関する二、三の考察(前田正久)

<研究ノート>

社会保障機能の担い手: 国家と企業——日本とイギリス
の国際比較(R.P. ドーア・町田俊彦)老人の生活構造 (II)——「東京都老人福祉基礎調査」の
結果から(高橋紘士)

<書評>

塩野谷九十九・平石長久訳 高橋武解説『ILO・社会保
障への途』(坂本重雄)

講座『日本の老人』(全三巻)(三友雅夫)

<第7回社会保障研究奨励賞授賞論文>

<社会保障研究所日誌>

<社会保障統計>(曾原利満・大本圭野)

<研究会抄録>

<欧文抄録>

第8巻 第4号 (1973. 3)

<巻頭言>

社会保障の教育学的アプローチ(留岡清男)

<論文>

経済計画と社会保障(小山路男)

経済計画における保健医療計画の問題点(西 三郎)

社会福祉と計画——社会福祉の計画のために検討すべき
若干の問題(三浦文夫)

医療保険の発展と医療サービス(前田信雄)

英米における貧困対策——ニガティブな所得税の提案
(星野信也)

<資料>

社会保障問題懇談会報告(要旨)

<書評>

小山路男・藤澤益夫編著『経済発展と福祉社会』(小川喜
一)

<社会保障統計>(曾原利満・大本圭野)

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

第9巻 第1号 (1973. 8)

<巻頭言>

社会的責任(山田雄三)

<論文・最近の社会保障の動向>

雇用政策の再編過程(馬場啓之助)

70年代の年金問題(地主重美)

生活保護——保護率の動向をめぐって(小沼 正)

医療の動向(都村敦子)

社会福祉行政の一動向——最近の動きを中心に(三浦文
夫)

国際動向 (I)——各国の一般的動向(平石長久)

国際動向 (II)——国際機関(保坂哲哉)

<自由論題>

所得の再分配(市川 洋)

<資料>

昭和48年度研究プロジェクトについて

<研究ノート>

医療サービスに対するニードと需要(都村敦子)

<社会保障研究所日誌>

<社会保障統計>

<研究会抄録>

<欧文抄録>

第9巻 第2号 (1973. 10)

<巻頭言>

つぎの飛躍を(伊部英男)

<論文>

農家世帯の高齢者問題(並木正吉)

退職一時金問題の視点——退職金をめぐる混迷と方向
(孫田良平)

経済計画と年金問題(山本純男)

老人のための社会福祉サービス——今後の課題(前田大
作)

<自由論題>

社会問題の社会史的考察——老人問題研究ノート(北川
隆吉)

<資料>

社会保険と私の年金(I)(大滝 勉)

<研究ノート>

カナダの社会福祉(萩原清子)

<書評>

塩野谷祐一著『福祉経済の理論』(馬場啓之助)

<社会保障統計>(曾原利満・大本圭野)

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

第9巻 第3号(1974. 1)山田雄三前所長退任記念号

退任記念号の刊行に寄せて(馬場啓之助)

<特集: 福祉理論と福祉政策の基本問題>

福祉の経済組織(馬場啓之助)

現代福祉思想の価値前提(武藤光朗)

福祉と民主主義の理論(塩野谷祐一)

所得保障政策と労働供給——社会保障政策の有効性(地主重美)

経済計画・社会計画・全体計画(青井和夫)

社会計画の国際動向(保坂哲哉)

社会福祉政策の現代的課題——公私役割分担についての一試論(三浦文夫)

貧困対策への新しい接近——イギリス Tax-Credit System と補足給付(小沼 正)

各国における年金制度の自動的調整(平石長久)

<山田雄三先生略歴及び著作目録>

<欧文抄録>

第9巻 第4号(1974. 3)

<巻頭言>

年金改正と今後の課題(山本正淑)

<論文>

現代における貧困の意味(中鉢正美)

現代の貧困について——アメリカ合衆国にみる(小谷義次)

大都市における低所得・不安定階層の量と形態および今後について(江口英一・川上昌子)

<自由論題>

1930年代のアメリカにおける「社会計画」論——G. ソウルを中心とした若干の動向(杉森創吉)

<資料>

社会保険と私の年金(II)(大滝 勉)

<研究ノート>

養老貯蓄と老齢年金(馬場啓之助)

公害による社会的費用(=社会的損失)の個人的消費への転嫁——江東デルタ地域の公害と家計(大本圭野)

<書評>

ダニエル・ベル『産業化後社会の到来』(小林良二)

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

<研究会抄録>

<欧文抄録>

第10巻 第1号(1974. 7)

<研究の窓>

福祉の思想(阿部志郎)

<論文>

雇用保険——失保研報告と雇用保険法案(西川俊作)

社会保障と私の保障——アメリカの年金を中心として(山崎泰彦)

<資料>

社会福祉施設整備計画の改定について

看護婦需給計画について

[コメント]

「社会福祉施設整備計画の改定について」のコメント(三浦文夫)

看護は病院に限られるものではない——「看護婦需給計画について」のコメント(西 三郎)

昭和49年度研究プロジェクトについて

<研究ノート>

社会的アンバランスに関する統計的研究(城戸喜子)

<社会保障研究所シンポジウム>

I インフレと福祉政策

レポート: 篠原三代平

コメント: 馬場啓之助 辻村江太郎

一般討論: (司会) 山田雄三

II 最低賃金と最低生活保障

レポート: 藤本 武 小沼 正

コメント: 孫田良平 副田義也 大前朔郎

一般討論: (司会) 平田富太郎

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第10巻 第2号(1974. 10)

<研究の窓>

皆のために働く(青井和夫)

<論文>

所得分布の変動と再分配効果(今泉佳久)
アメリカ老齢年金保険の構造分析(藤田伍一)

「社会政策」とソーシャル・ポリシー——ひとつの覚え書き(稲上毅)

社会保障と家族規模 (I) (深谷昌弘)

<資料>

老人の余暇と余暇歴について(萩原清子)

<社会保障研究所基礎講座>

社会保障の国際動向(高橋武)

公害と健康(鈴木武夫)

<書評>

佐口卓著『医療保険論』(真屋尚生)

<社会保障統計>

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

第10巻 第3号 (1975. 1)

<研究の窓>

福祉充実のトリレンマ(江見康一)

<論文>

社会保障法における社会保険(荒木誠之)

社会保障の制度維持主体の問題点——日本型社会保障制度の現状の問題を中心として(佐藤進)

インター問題の歴的考察(菅谷章)

社会保障と家族規模 (II) (深谷昌弘)

<資料>

今後の老人対策について(提言)

社会保障長期計画懇談会の審議状況について(その2)

<社会保障研究所公開研究座談会>

西ドイツ社会保障の最近の動向(保坂哲哉)

フランス社会保障の最近の動向(上村政彦)

<書評>

三浦文夫編『社会福祉論』(小林良二)

<社会保障統計>

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

第10巻 第4号 (1975. 3)

<研究の窓>

住民運動と社会学(松原治郎)

<論文>

経済開発と社会保障——経済、社会、政治の接点を探る

(平恒次)

福祉社会と勢力構造(向井利昌)

英国の看護管理・看護教育の変革——Salmon Committee Report, Briggs Committee Report and RCN Commentを中心として(三友雅夫・上野フジエ)

所得分配における不平等度の測定——社会的厚生関数アプローチ批判(藤本喬雄)

<資料>

地方小都市中高年世帯の家族周期的分析——世帯概況(森岡清美)

「物価上昇下の分配等の歪み是正策について」(中間報告)(国民生活審議会総合部会)

<解説>(高橋紘士)

<社会保障研究所公開研究座談会: 生活調査における家族周期的アプローチ>

家族周期的アプローチの強みと弱み(森岡清美)

生活調査における調査方法上の問題点を中心として(小沼正)

<書評>

ポール・パイヤ著、藤井良治訳『老年の社会学』(上村政彦)

<社会保障統計>

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

<欧文抄録>

第11巻 第1号 (1975. 7)

<研究の窓>

経済の政治化と政治の経済化(大熊一郎)

<論文>

労働者意識の変化と世代ギャップ——石油化学労働者の労働条件意識を中心として(小林謙一・町田隆男・龜山直幸)

現物給付形態と管理過程——福祉サービスの効果と管理についてのノート(高沢武司)

ソーシャル・ニードを把握するいくつかのアプローチについて(都村敦子)

インフレ下における低所得者層の経済行動(藤本喬雄)

<資料>

昭和50年度研究プロジェクトについて(社会保障研究所)

昭和50年度厚生省予算について(末次彬)

地方小都市中高年世帯の家族周期的分析——家計(伊藤秋子)

<社会保障研究所シンポジウム>

〔I〕 経済変動と社会保障

レポート：山田雄三

コメント：馬場啓之助 宮崎 勇

一般討論：(司会) 塩野谷九十九

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第11巻 第2号 (1975.10)

<研究の窓>

制度研究と政策論(小山路男)

<論文>

高齢化社会の課題(伊部英男)

高齢社会の人口問題(岡崎陽一)

福祉社会としての高齢化社会(馬場啓之助)

<研究ノート>

被保護階層の生活水準に関する一つの計測——東京都西部を中心として(仁科 保)

<資料>

高齢者福祉対策の研究報告——「高齢化社会と福祉」について(日本都市センター)

<社会保障研究所シンポジウム>

〔II〕 インフレーションと社会保障

レポート：地主重美

コメント：伊東正則

一般討論：(司会) 馬場啓之助

〔III〕 社会保障と社会福祉——社会福祉の法的課題

レポート：荒木誠之 古賀昭典

コメント：高橋 武 小沼 正

一般討論：(司会) 林 迪廣

<社会保障統計>

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

第11巻 第3号 (1976. 1)

<研究の窓>

ヘルスマンパワー研究雑感(橋本正巳)

<論文>

「分配」と「再分配」——「公正」とは何を意味するか(正村公宏)

雇用者の所得分布とライフ・ヒストリー(市川 洋)

社会保障の経済学的分析——所得再分配へのアプローチ
(高山憲之)

<研究ノート>

スウェーデン国民付加年金制度の経済予測, 1972~2000

年について——T. Eriksen, En Prognosmodell för den Allmänna Tilläggspensioneringen ATP, Riksförskringsverket, 1973 の紹介(城戸喜子)

看護婦不足問題をめぐる再検討の視角構想——「看護婦」不足論から「看護」不足論へ(宗像恒次)

<資料>

「所得分配に関する研究会」の報告書について

ライフ・ヒストリーの事例(市川 洋・西 三郎)

<社会保障研究所シンポジウム>

〔IV〕 福祉社会の社会組織——社会福祉におけるコミュニティの在り方

レポート：三浦文夫 岡村重夫

コメント：阿部志郎 稲上 毅

<社会保障統計>

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

第11巻 第4号 (1976. 3)

<研究の窓>

社会保障研究所10年の歩み(小沼 正)

<論文>

開発途上国の貧困と「南北」国際関係(平 恒次)

アジア的人口増加と人口抑制政策の基本的戦略構想(加藤壽延)

アジアの発展途上国における社会保障(樋口富男)

東南アジア諸国連合(ASEAN)地域の保健衛生事情——タイおよびマレーシアにおける衛生行政と保健計画について(黒子武道)

日米保健費用の比較(前田信雄)

<研究ノート>

各国社会指標関連報告の比較(城戸喜子)

<社会保障研究所公開研究座談会：年金制度と年金年齢>

レポート：財政面からみた年金年齢(田村正雄)

レポート：年金計画と年金年齢(平石長久)

<書評>

チヨング・キー・パーク著『韓国の社会保障』(保坂哲哉)

フリートリッヒ・エーバート財団編『貧困に対する効果的な戦略』(保坂哲哉)

<社会保障統計>

<欧文抄録>

第12巻 第1号 (1976. 7)

<研究の窓>

福祉労働の評価(中鉢正美)

<論文>

最低賃金制と国民の福祉——全国一律最低賃金制論の虚妄(白井泰四郎)

変動する危機の現代家族(森岡清美)

<人と業績>

賀川豊彦とその時代——友無き者の友となりて(嶋田啓一郎)

<研究ノート>

「新しい貧困」の救済に関するノート(大本圭野)

福祉問題の社会学的検討のために——いくつかの素材(岸 功)

<資料>

昭和51年度研究プロジェクトについて(社会保障研究所)

昭和51年度厚生省予算について(小池隆雄)

民生委員の活動と意識の状況——東京都における民生委員活動の実態調査から(萩原清子・中野いく子)

<書評>

ダーレンドルフとベルの現代社会論(馬場啓之助)

<社会保障統計>

第12巻 第2号 (1976. 9)

<研究の窓>

社会扶助と社会保険(高橋 武)

<論文>

イギリスの社会保障の最近の動向(一圓光弥)

フランス社会保障立法の新たな展開(上村政彦)

イギリスにおける社会福祉の最近の動向——精神薄弱者のためのコミュニティ・ケアの現状(浜野一郎)

米国における社会福祉の最近の動向(秋山智久)

社会保障における女性の地位に関する予備的考察(その1)(都村敦子)

<資料>

母子寮の現状と将来像(副田義也・吉田恭爾)

福祉意識と地域福祉——福祉意識の地域別パターンの計量的分析(高橋紘士)

<書評>

平石・保坂・上村共著『欧米の社会保障制度』——貴重な現代制度理解のための基礎的解説書(角田 豊)

<社会保障研究所日誌>

<研究会抄録>

<社会保障統計>

第12巻 第3号 (1977. 1)

<研究の窓>

ケインズとマルサスの悪魔(安川正彬)

<論文>

福祉社会の日本の形態——ひとつの試論(馬場啓之助)
ソーシャル・ポリシーの選択——ハード・アプローチと
ソフト・アプローチ(伊部英男)

年金制度の再編成(村上 清)

養護老人ホーム論(森 幹郎)

社会福祉法体系理論への一試論——市民法理との対比から(北村圭文)

<資料>

「社会福祉教育のあり方について」——解説(三浦文夫)

<社会保障統計>

第12巻 第4号 (1977. 3)

<研究の窓>

個人主義の社会的視野(馬場啓之助)

<論文>

現行最賃制の機能——その虚妄性と現実性(下山房雄)
積立方式と賦課方式(高山憲之)

<社会保障問題シンポジウム>

(1) 社会保障と個人貯蓄

レポート：地主重美

コメント：深谷昌弘 江見康一

司 会：山田雄三

(2) 社会保障における費用負担の社会経済的意義

レポート：肥後和夫 藤澤益夫

コメント：大熊一郎 保坂哲哉

司 会：馬場啓之助

(3) 社会福祉における受益者負担

レポート：三浦文夫

コメント：岡田正章 佐藤 進

司 会：福武 直

(4) 社会福祉と地方行財政

レポート：高橋紘士 岸 昌

コメント：安永吉郎 小沢辰男

司 会：馬場啓之助

<書評>

デリック・フルチャー著『医療保障制度』(山崎泰彦)

<社会保障統計>
<研究会抄録>
<社会保障研究所日誌>
<欧文抄録>

<研究会抄録>
<社会保障研究所日誌>
<社会保障統計>

第13巻 第1号 (1977. 6)

<研究の窓>
中間集団主義とその周辺(馬場啓之助)
<論文>
社会保障をめぐる生活の論理と生産の論理(庭田範秋)
年金における生活保障の国際原則(角田 豊)
米国老人用公営住宅における住宅満足度分析の試み(村山冴子)
福祉政策の“Harmonization”問題について—児童扶養控除制度と児童手当制度の一元化(都村敦子)
<研究ノート>
スウェーデン社会福祉政策の目標と手段—1974年政府社会報告から(城戸喜子)
わが国における家賃政策の問題点(上)(大本圭野)
社会保障の民主的管理・運営に関する一考察(名嶋和子)
<人と業績>
リチャード・M・ティトマス—その人と業績(三浦文夫)
<資料>
昭和52年度研究プロジェクトについて(社会保障研究所)
昭和52年度厚生省予算について(岡光序治)
<社会保障統計>

第13巻 第2号 (1977. 9)

<研究の窓>
社会福祉教育と実習(福武 直)
<論文>
現代福祉国家の経済的側面—スウェーデンの場合(川口 弘)
動態的ライフサイクル貯蓄と社会保障(地主重美)
社会保障と個人貯蓄率(深谷昌弘)
アメリカ合衆国の社会福祉教育と実習(小林迪夫)
イギリスにおける社会福祉マンパワー計画と福祉教育・訓練の動向—70年代中葉の状況(杉森創吉)
<研究ノート>
オーストラリアの医療保障(山崎泰彦)
社会指標研究における一観点(I)—保健医療指標を事例として(三重野卓)

<研究の窓>
従属人口と扶養負担の意味(寺尾琢磨)
<論文>
福祉社会移行の日本の条件(馬場啓之助)
1834年救貧法報告—虚構と事実(伊部英男)
生活保護の点検(藤井 康)
都道府県別にみた生活保護率の地域差について(曾原利満)
<研究ノート>
わが国の家賃政策の問題点(中)(大本圭野)
世帯の生活水準測定と所得調査(岸 功)
<資料>
「総合社会政策」その理念と課題—総合社会政策基本問題研究会報告書の検討
<書評>
坂寄俊雄・小倉襄二編『婦人の生涯と社会保障』(中野い子)
<研究会抄録>
<社会保障研究所日誌>
<社会保障統計>

第13巻 第4号 (1978. 3)

<研究の窓>
認識の相違(山田雄三)
<社会保障問題シンポジウム>
(1) 生活保障における企業の役割
レポート: 高橋 武 地主重美 城戸喜子
コメント: 村上 清 江見康一 丸尾直美
司会: 馬場啓之助
(2) 家族機能の変化と社会福祉
レポート: 森岡清美 三浦文夫
コメント: 岡崎陽一 松原治郎 北川隆吉
渡辺益男
司会: 青井和夫
<論文>
対人福祉サービスの今後の方向(その1)—第XIX回
国際社会福祉会議に寄せて(三浦文夫)
<研究会抄録>

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

<欧文抄録>

第14巻 第1号 (1978. 6)

<研究の窓>

福祉社会の新形態(馬場啓之助)

<論文>

医療サービスに対する需要と供給の見通し(都村敦子)

社会福祉活動への参加意識の類型分析(高橋紘士)

シーボーム改革と組織問題に関する若干の論点(小林良二)

<研究ノート>

家族周期段階の発達に伴う住居費負担と家計構造(大本圭野)

<第12回社会保障研究所シンポジウム>

福祉国家の次の段階——福祉政策の総合化と高次元化

レポート: 丸尾直美

コメント: 馬場啓之助 高橋紘士

一般討論(司会): 大熊一郎

<資料>

昭和53年度研究プロジェクトについて(社会保障研究所)

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

第14巻 第2号 (1978. 9)

<研究の窓>

専門化と統合化(伊部英男)

<論文>

給付率等の変更による医療費への波及に関する研究(前田信雄)

新しい国民経済計算と社会保障費(斎藤治美)

「人的資本への投資」としての医療需要(田中 滋)

定年退職と社会的適応——活動理論と離脱理論の再検討(松村健生)

<研究ノート>

生活保障における政府および企業の役割(1)——国際比較による予備的考察(城戸喜子)

<研究会抄録>

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第14巻 第3号 (1978. 12)

<研究の窓>

経済学における人間復位(江見康一)

<論文>

社会保障政策論の問題意識——拙著に対する二つの書評に答える(山田雄三)

対人福祉サービスの今後の方向(II)——在宅福祉サービスの展開(三浦文夫)

社会福祉予算における意志決定構造の分析(坂田周一)

<研究ノート>

タイの社会福祉(伊達卓三)

T.S. サイミーのソーシャル・アドミニストレーション論(社本 修)

意識調査における信頼性について——満足—不満尺度の検討(三重野卓)

<書評>

籠山京著『公的扶助論』(小沼 正)

<社会保障統計>

第14巻 第4号 (1979. 3)

<研究の窓>

中国の人口(青井和夫)

<論文>

福祉社会の労働力政策(馬場啓之助)

補償と保障とをめぐって(佐藤 進)

西ドイツの医療保障組織とその改革(保坂哲哉)

福祉支出の年齢階層分布——一つの推計(地主重美)

サンフランシスコ郡(市)の社会福祉事業(小林迪夫)

<研究ノート>

農村社会における老人層の生活史と地域老人福祉の諸条件——北海道酪農專業地帯の事例を通して(小林 甫)

イギリスにおける戦後のボランタリー・アクションの展開(中野いく子)

<書評>

小山路男著『西洋社会事業史論』(小林良二)

<研究会抄録>

<社会保障研究所日誌>

<社会保障統計>

<欧文抄録>

第15巻 第1号 (1979. 6)

<研究の窓>

ミクロ経済政策のすすめ(大熊一郎)

<論文>

所得保障と高齢者の労働供給——社会保障と雇用政策をめぐる一侧面(島田晴雄)

高齢者の社会的インテグレーション(石岡慎太郎)

財政福祉給付の実証的検討——税制改正の福祉給付に及ぼす効果(都村敦子)

T. H. マーシャルの社会政策論(小林良二)

救護施設の現状と課題(小寺清孝)

人工長命時代を考える——「老年問題に関する京都国際シンポジウム」を省みて(吉田寿三郎)

<資料>

昭和54年度厚生省予算の概要——在宅福祉サービスの充実を目ざす(苅安達男)

昭和54年度研究プロジェクトについて(社会保障研究所)

<研究会抄録>

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

第15巻 第2号 (1979. 9)

<巻頭言>

転換期と奮鬥(小沼 正)

<論文: 昭和53年度社会保障問題調査研究報告論文集>日本の病院の特質——マクロ的視点からの分析(西 三郎)

健康づくりの運動と効果と測定(市川 洋)

医療政策の効果測定の理論的枠組について(田中 滋)

医療政策の医療システムへの影響——そのためのモデル設計(辻 正重)

公的年金・退職金・企業年金(村上 清)

社会保障政策とくに公的年金と雇用問題の調整について(孫田良平)

高齢化社会と労働供給の問題点(神代和欣・桑原靖夫)

<研究ノート>

イタリアの医療改革と国営医療サービス法の成立(須田 和子)

社会測定論の基礎概念(三重野卓)

<社会保障統計>

第15巻 第3号 (1980. 1) 社会保障研究所創立15周年記念(特集: 福祉政策の回顧と展望)

<巻頭言>

普遍主義と職業主義(馬場啓之助)

<論文 I>

福祉社会の構図(馬場啓之助)

年金保険と疾病保険における財政調整——西ドイツとフランスの場合(保坂哲哉)

生活保護基準の格差縮小方式について(曾原利満)

国民年金体制の再検討(山崎泰彦)

社会保障と税制との関連(都村敦子)

人口構造の高齢化と日本の福祉政策の状況(城戸喜子)

世帯類型別の税・社会保険料負担(岸 功)

<論文 II>

高齢者事業団について——高齢化社会の挑戦のひとつの試み(三浦文夫)

社会福祉費用の動向——昭和40年代を中心に(高橋紘士)

福祉事務所と専門職制(小林良二)

社会計画論の基礎概念(三重野卓)

第15巻 第4号 (1980. 3)

<研究の窓>

社会保障への反省(高橋 武)

<論文>

西ドイツ年金制度の現状と展望(石本忠義)

イギリスにおける“未婚の母”的生活実態——最近の調査研究動向とくに A. ホプキンソン著『未婚の母たち』(1976年)にふれつつ(京極高宣)

総合的社会政策について——OECD プロジェクトの紹介を中心に(府川哲夫)

「サニタリー・アイディア」の形成——エドウィン・チャドウィックによせて(小山秀夫)

地域福祉の理論的枠組に関する一考察(中野いく子)

国民年金法(1959年)の可決に関する政治的・社会的要因(英文)(ポール・ルイス)

<研究会抄録>

<社会保障統計>

<社会保障研究所日誌>

<英文抄録>

第16巻 第1号 (1980. 6)

<研究の窓>

高齢化と社会保障(小山路男)

＜論文＞

大都市老齢雇用者階層の住宅——住宅政策と年金制度の関連づけのために(山崎 清)

1970年代の生活保護——イギリス補足給付と対比して(小沼 正)

＜第14回社会保障研究所シンポジウム＞

テーマ「社会保障と財政」

レポート：社会保障の財源調達のあり方(大野吉輝)

レポート：社会保障と地方財政(土田栄作)

コメント：地主重美 京極高宣

一般討論：(司会) 馬場啓之助

＜昭和54年度社会保障問題調査研究報告：医療政策の効果測定に関する理論的枠組みについて——とくに予防医療の効果を中心にして＞

第1章 医療政策検討用シミュレーターの開発(辻正重)

第2章 予防医療の経済分析(地主重美)

第3章 健康管理の費用と効果(市川 洋)

第4章 勤労者家計における保健医療費支出と診療代支出の動向——年間収入の階級別および勤務先企業規模別組合の分析(田中 澤・三上英美子)

＜書評＞

高山憲之著『不平等の経済分析』(江見康一)

＜資料＞

昭和55年度研究プロジェクトについて(社会保障研究所)

＜社会保障統計＞(曾原利満)

第16巻 第2号 (1980. 9)

＜研究の窓＞

貧困研究の必要(松原治郎)

＜論文＞

医療保険における世帯の給付と負担(I)——岩手県一戸町国民健康保険加入世帯の実態(お茶の水女子大学家庭経済学研究会)

アメリカにおける社会保障訴訟の問題点——連邦裁判所の管轄権の問題を中心として(石橋敏郎)

＜研究ノート＞

コール仮説と日本の人口老齢化(馬場啓之助)

＜昭和54年度社会保障問題調査研究報告 II＞

社会保障の国民経済的地位に関するモデル分析(市川

洋・林 英機・馬場啓之助・岸 功)

第1章 社会保障給付の物価スライド制の影響

第2章 長期社会保障モデルの計測と分析

＜社会保障統計＞(曾原利満)

第16巻 第3号 (1981. 1) 馬場啓之助前所長

退任記念号

＜馬場所長退任記念号によせて＞(福武 直)

＜特集：馬場所長退任記念論文集＞

総合社会政策と社会指標(宍戸寿雄)

個人と社会との哲学的関係(唯是康彦)

21世紀の家族問題——離婚(青井和夫)

医療における倫理と技術進歩と経済(江見康一)

貧困測定における新しい方法——Peter Townsend の

‘68年貧困調査(小沼 正)

福祉サービスからみたコミュニティとボランティア(小林良二)

社会保障財政の国際動向(高橋 武)

非家族的生活者の推移(森岡清美)

社会福祉における民間資金についての予備的考察(三浦文夫)

＜馬場啓之助先生年譜及び著作目録＞

第16巻 第4号 (1981. 3)

＜研究の窓＞

ライフサイクルとライフコース(森岡清美)

＜論文＞

J.ヒギンズの社会政策に関する社会統制論について(柏野健三)

高齢者の生活保護受給率に関する若干の検討(曾原利満)

障害者の所得保障制度の現状と課題(堀 勝洋)

OECD 方式による日本の公共医療費の分析(城戸喜子)

医療保険における世帯の給付と負担(II)——岩手・長崎・静岡3地域の実態(お茶の水女子大学家庭経済学研究会)

＜研究ノート＞

日本社会福祉研究の基礎視座——「社会科学的研究方法」批判(大内俊一)

＜社会保障統計＞(曾原利満)

＜社会保障研究所日誌＞

第17巻 第1号 (1981. 6)

＜研究の窓＞

出生力低下の将来(安川正彬)

＜論文＞

医療費の家計負担に対する影響と負担の限度に関する研究(前田信雄)

スウェーデンにおける福祉と財政(飯野靖四)

日本型福祉社会論(堀 勝洋)

イタリアの保健医療改革(須田和子)

<第15回社会保障研究所シンポジウム>

テーマ「福祉社会の構想」

レポート：福祉社会のボランタリズム(西尾 勝)

レポート：福祉国家の限界(飯田経夫)

レポート：福祉社会の社会的条件(三浦文夫)

コメント：高橋紘士 地主重美 星野信也

一般討論：(司会)福武 直

<資料>

昭和56年度厚生省予算について(木本忠男)

昭和56年度研究プロジェクトについて(社会保障研究所)

<研究会抄録>

<社会保障統計>(曾原利満)

第17巻 第2号 (1981. 9)

<研究の窓>

社会福祉事業法と改正について(三浦文夫)

<論文>

再構築を求められる社会政策(小林節夫)

年金制度の問題点と改革の方向(村上 清)

西ドイツ年金制度の動向と展望(石本忠義)

戦後英国における家族福祉サービス構想と社会福祉再編

成——児童福祉における予防的介入志向をめぐって
(津崎哲雄)

医療保険制度の意義と限界——国保世帯の給付と負担の

実態をふまえて(お茶の水女子大学家庭経済学研究会)

<昭和55年度研究プロジェクト報告>

「社会保障の政策効果測定に関する研究」(市川 洋・林英機・馬場啓之助・岸 功・三上英美子)

第一章 年金給付将来推計の修正

第二章 長期社会保障モデルによるシミュレーション

<社会保障統計>(曾原利満)

第17巻 第3号 (1981.12)

<研究の窓>

「活力ある福祉社会」と社会保障(福武 直)

<論文>

アメリカにおける定年延長法下の雇用保障(小林謙一)

スウェーデンの老人福祉——平等政策の一環として(小

野寺百合子)

福祉コミュニティの形成要因の分析——事例研究：神戸

市真野(苅藻)地区を対象に(牧里毎治)

保育料徴収に関する児童福祉法の法的構造の分析と保育

料徴収制度のあり方について(堀 勝洋)

定年退職後の職業移動と生活適応(和田修一)

<昭和55年度研究プロジェクト報告>

社会保障と税制との相互調整——わが国の年金および医療について(都村敦子)

社会保障給付の所得階層別帰着(城戸喜子)

<資料>

臨時行政調査会第32会議における報告「社会保障政策について」(山田雄三)

<社会保障統計>(曾原利満)

第17巻 第4号 (1982. 3)

<研究の窓>

障害者雇用への期待——障害者のノーマライゼーション
(平田富太郎)

<論文>

社会保険の財政健全化に向けての技術(庭田範秋)

福祉国家の社会的基礎——社会学的一考察(向井利昌)

福祉国家思想史の基本課題(木村正身)

保育所運営についての問題点(加藤富子)

戦時住宅政策の展開過程(1)——日本の住宅政策の原型
(大本圭野)

定年退職者の職業移動・引退・生活水準——計量社会学的分析(平岡公一)

<研究ノート>

社会保障法判例——児童の障害が種痘に起因すると認められ、予防接種法による障害児養育年金の不支給決定が取り消された事例(堀 勝洋)

フランスの社会保障・社会福祉制度——その形態の特徴と生活文化との関連(松村祥子)

第18巻 第1号 (1982. 6)

<研究の窓>

社会保障論の論——社会保障における「制度」と「哲学」と(大河内一男)

<論文>

西欧諸国における高齢者の所得保障(樋口富男)

スウェーデンの住宅政策(小野寺信)

社会福祉と料金(坂田周一)

<昭和56年度研究プロジェクト中間報告>

福祉サービス部門への労働力配分の計測——昭和140~50年
年の実績から(城戸喜子)

<第16回社会保障研究所シンポジウム>

テーマ「福祉改革の基本的方向を問う」

レポート：福祉改革と「財政の論理」(石 弘光)

レポート：社会保障・経済・財政(貝塚啓明)

レポート：社会保障の再編成(小山路男)

コメント：深谷昌弘 江見康一 飯野靖四

討論：(司会)福武 直

<動向>

入院需要の将来推計(三上英美子)

社会保障法判例——長岡京市による時間外保育料徴収処分の取消等請求事件に関し和解が成立し、時間外保育料徴収制度が廃止された事例(堀 勝洋)

<書評>

OECD, *The Welfare State in Crisis*, Paris 1981——An Account of the Conference on Social Policies in the 1980's. (山田雄三)

<昭和57年度研究プロジェクトについて> (社会保障研究所)

<社会保障研究所日誌>

<社会保障統計>(曾原利満)

第18巻 第2号 (1982. 9)

<研究の窓>

福祉社会の社会的限界(保坂哲哉)

<論文>

公的年金制改革と共済年金統合論(坂本重雄)

老人医療の経済分析(井口直樹)

戦前日本における公的救済立法——「救護法」成立過程の再検討(宇野正道)

<昭和56年度研究プロジェクト報告>

(1) 研究課題II 社会保障と税制との相互調整ならびに給付配分の効率性に関する研究

所得税における「妻」の座の取り扱い(飯野靖四)

(2) 研究課題V 社会保障の負担・給付が経済成長に及ぼす影響の分析

第1章 超長期モデルによる社会保障の推計(岸 功)

第2章 高年齢層労働力率の将来推計(三上英美子)

第3章 長期社会保障モデルの今後(林 英機)

第4章 2025年の年金負担(市川 洋)

<動向>

社会保障法判例——障害福祉年金と児童扶養手当の併給

調整条項が違憲でないとされた事例(堀木訴訟上告審判決)(堀 勝洋)

<書評>

マーシャルの『福祉に対する権利』(星野信也)

<社会保障統計>(曾原利満)

第18巻 第3号 (1982. 12)

<研究の窓>

政策転換における外圧と内圧(篠原三代平)

<論文>

人口高齢化と医療保障——新しい政策選択(地主重美)

「小さな政府」の社会保障——保険の視点に立ったフレームの検討(徳永芳郎)

生活の質と社会保障(鶴野公郎)

公的年金制度に関するいくつかの見方(牛丸 聰)

<昭和56年度研究プロジェクト報告：研究課題II 社会保障と税制との相互調整ならびに給付配分の効率性に関する研究>

財政と社会保障との相互調整(江見康一)

税制および社会保障制度における家族のとり扱い(都村 敦子)

世帯規模別・所得階層別帰着状況からみた社会保障給付配分の効率性(城戸喜子)

<動向>

「医療サービスの効率化」についての考察——昭和57年度年次経済報告を読んで(西 三郎)

社会保障法判例——国民健康保険税条例が憲法第92条および第84条に違反するとされ、同条例に基づく国民健康保険税の賦課処分が取り消された事例(堀 勝洋)

<社会保障統計>(曾原利満)

第18巻 第4号 (1983. 3)

<研究の窓>

新しい社会福祉としての地域福祉(岡村重夫)

<論文>

日本における老人福祉政策の形成過程(ジャン・C・キヤンペル, 平岡公一訳)

呆け老人の社会福祉対策(奈倉道隆)

終末介護の諸問題——終いの看取りに関する調査より(井上勝也)

イギリスの社会保障制度に関する一史的考察——ベヴァリジの社会保障計画を中心として(仁科 保)

大戦後イギリスにおける社会政策と不平等(武川正吾)

＜昭和56年度研究プロジェクト報告：研究課題IV 重度障害者に対する福祉対策のあり方について＞

重度障害者のニード測定と介護ニードの規定要因（高橋 純士・平岡公一）

＜動向＞

地域別にみた人口高齢化の動向（岸 功）

社会保障法判例——日本国籍を有しなかったことを理由として国民年金の老齢年金を支給しないとする処分等が違法・違憲でないとされた事例（堀 勝洋）

＜書評＞

『年金改革論』（社会保障研究所編）（村上 清）

＜社会保障統計＞（曾原利満）

第19巻 第1号（1983. 6）

＜研究の窓＞

国際老年学会について（原澤道美）

＜第17回社会保障研究所シンポジウム＞

テーマ「活力ある福祉社会」と社会保障——社会保障は国民社会の活力を低下させるか

レポート：社会保障と社会変動の関連分析（富永健一）

レポート：労働の面からみた活力ある福祉社会（小池 和男）

コメント：稲上 豊 地主重美 平石長久

討論：（司会）福武 直

＜論文＞

人口の長期変動と社会保障負担（市川 洋）

高齢者の入院費用の高低に関する研究——地域差の分析（前田信雄）

福祉サービス評価の基本的課題（冷水 豊）

＜動向＞

社会保障法判例——老齢福祉年金と公的年金との併給制限規定が違憲でないとされた事例（岡田訴訟上告審判決）（堀 勝洋）

＜書評＞

ラルフ・クレーマー著『民間社会福祉の国際比較』（高橋 純士）

＜昭和58年度研究プロジェクトについて＞（社会保障研究所）

＜社会保障研究所日誌＞

＜社会保障統計＞（曾原利満）

第19巻 第2号（1983. 9）

＜研究の窓＞

社会保障と社会保障研究所（福武 直）

＜論文＞

レーガン革命下のアメリカ社会保障（平 恒次）

公共部門の拡大——スウェーデンの場合（龍円恵喜二）

社会政策とは何か（ロバート・ピンカー、柄木一三郎訳）

西ドイツにおける社会政策論の新展開（保坂哲哉）

＜昭和57年度研究プロジェクト報告＞

研究課題I 西欧諸国におけるソーシャルポリシーとソーシャルポリシー論に関する研究（中間報告）

ソーシャルポリシー論研究について（小山路男）

書評『福祉の諸状態——社会政策における比較分析』

（J. ヒギンズ著）（武川正吾）

〃『社会福祉と国家の失敗——集権的サービスと参加型のオールターナティブ』（ロジャー・ハドレー、ステファン・ハッチ著）（平岡公一）

〃『福祉国家の将来——社会政策の再構築』（ハウワード・グレナースター編）（平岡公一）

〃『コーポラティズムと福祉——英国における社会政策と国家介入』（A. コーソン著）（武川正吾）

〃『社会政策の挑戦』（ジーグマール・モスドルフ著）（大谷津晴夫）

研究課題II 高齢者世帯の家計行動と社会保障に関する研究

第1章 高年齢雇用者の産業と職業（桑島靖夫）

第2章 年金の収入制限の効果（清家 篤）

第3章 女子高齢者の労働供給パターン（三上英美子）

＜書評＞

『社会事業（上・中・下）』（社会保障研究所編），『戦前日本の社会事業調査』（社会福祉調査研究会編），『社会事業統計の研究』（小島勝治著）（小沼 正）

＜動向＞

社会保障法判例——診療当時の医学、医療水準ないし療養担当規則に適合しない診療については医療保険法上の診療報酬請求権は発生しないとされた事例（小田訴訟控訴審判決）（堀 勝洋）

第19巻 第3号（1983. 12）

＜研究の窓＞

損害賠償と社会保障（有泉 亨）

＜論文＞

社会保障・社会福祉の法と行財政——その課題と展望（佐藤 進）

福祉政策の政治過程（村松岐夫）

社会福祉サービスの権利構造試論——カール・ウェルマ
ンの福祉権論を手掛りに(河野正輝)

社会福祉行政における委託と契約の課題(右田紀久恵)

医療保障における公的責任(宇都木伸)

1980年代のコミュニティ・ケア——イギリスと日本の老人福祉(星野信也)

身体障害者福祉対策の利用者負担の現状とその在り方について(堀 勝洋)

〈昭和57年度研究プロジェクト報告：研究課題Ⅲ 福祉サービスへの労働力配分に関する研究〉

社会変動と社会保障経済(江見康一)

ヘルス・マンパワーの必要数の予測について(都村敦子)

福祉マンパワーの労働条件と労働力配分の決定要因(城戸喜子)

〈動向〉

社会保障法判例——夫に法律婚の妻と事実婚の妻がある場合において夫の死亡による遺族給付の請求が法律婚の妻に認められなかった事例(内藤訴訟上告審判決)(堀 勝洋)

〈社会保障統計〉(曾原利満)

第19巻 第4号 (1984. 3)

〈研究の窓〉

低成長期経済と社会保障——適性水準診断のモデル作成に向けて(鳴田啓一郎)

〈論文〉

ニュー・ジーランドの社会保障——とくに所得保障を中心にして(平石長久)

就業か引退か(ロバート・エヴァンス, 三上英美子訳)

高年齢者の就業行動分析——男女比較(下野恵子・橋木俊詔)

身体障害者雇用政策に関する一考察——外傷性脊髄損傷者の職業復帰を対象に(松井和子)

〈研究ノート〉

戦時住宅政策の展開過程(2)——日本の住宅政策の原型(大本圭野)

社会政策と社会的価値(武川正吾)

〈書評〉

小山路男編著『福祉国家の生成と変容』(木村正身)

〈動向〉

社会保障法判例——10年以上にわたって国民年金の被保険者として保険料を納付してきた者の老齢年金の裁定請求を国籍要件により却下した処分が、信義衡平の原則に反するとして取り消された事例(金訴訟控訴審判決)(堀 勝洋)

決) (堀 勝洋)

〈社会保障統計〉(曾原利満)

第20巻 第1号 (1984. 6)

〈研究の窓〉

社会保障の「あるべき姿」とは?(山田雄三)

〈第18回社会保障研究所シンポジウム〉

テーマ「社会保障をめぐる公私の役割」

レポート：成熟社会における社会福祉と自己負担(大野吉輝)

レポート：私的扶養に対する公的扶養としての社会保障の役割(堀 勝洋)

コメント：正村公宏 小林良二

討論：(司会)福武 直

〈論文〉

所得保障制度における事故の概念——老齢、障害、失業を中心として(樋口富男)

カナダの老齢年金制度について(村上雅子)

人的資本理論に基づく医療需要の経済分析(田中 滋・西村万里子)

〈研究ノート〉

老人の主観的幸福感尺度の方法論的検討(渡辺裕子)

〈書評〉

W.N. グラブ, M. ラザーソン著『破られた約束——アメリカ人は子どもたちへの対応にいかに失敗してきたか』(副田あけみ)

〈昭和59年度研究プロジェクトについて〉(社会保障研究所)

〈社会保障研究所日誌〉

〈社会保障統計〉

第20巻 第2号 (1984. 9) 医療特集

〈研究の窓〉

医学教育改革論の社会的背景(懸田克躬)

〈論文〉

①総論

医療資源をめぐって(小泉 明)

医療コンプレックス(中川米造)

②医療技術の発展と社会の価値・倫理

医療の進歩と医療倫理(村上國男)

医療技術の進歩と社会的・倫理的ジレンマ(品川信良)

医療の安全性の確保(坂上正道)

医と社会(多田羅浩三)

③医療供給体制の諸問題

DRG の波紋と対応(日野秀逸)

透析医療の国際比較(二木立)

Management のための医療情報システム(開原成允)

医療供給体制の諸問題(中山昌作)

④地域医療とプライマリ・ケア

地域医療20年の歩み(杉田肇)

保健・医療におけるコミュニティの問題(園田恭一)

プライマリ・ケアの国際比較(青山英康・中尾俊造)

健康教育と社会保障(山本幹夫)

⑤福祉と医療

重症心身障害児の療育をめぐって(高谷清)

⑥リハビリテーション

地域におけるリハビリテーション・ニーズ(伊藤利之)

<動向>

社会保障法判例(堀勝洋)

<書評>

福祉のための計画理論——『福祉と社会計画の理論』『市民参加の福祉計画』をめぐって(金子勇)

<資料>

昭和57年度社会保障給付費(社会保障研究所)

第20巻 第3号 (1984.12)

<研究の窓>

社会保障の教育研究体制(福武直)

<論文: 社会保障研究の将来的課題>

社会保障の展開と法的課題(荒木誠之)

社会保障研究の課題——社会政策論との関連で(保坂哲哉)

社会保障への経済的アプローチ——課題と分析(地主重美)

福祉社会学の課題と方法(副田義也)

<自由論題>

福祉サービス行政と「社会的市場」——いわゆる民間業務委託購入(PoSC)について(高沢武司)

方面委員による家族調整活動——カード階級の家族生活と方面委員の家理念(伊賀光屋)

<動向>

社会保障法判例——社会保険診療報酬支払金は、保険医療機関による診療報酬の請求について実質的に審査しつつ、減点査定することができるとした事例(堀勝洋)

<書評>

地主重美編著『社会保障読本』、小沼正・地主重美・保坂

哲哉編著『社会保障概論』、村上雅子著『社会保障の経済学』(丸尾直美)

社会保障研究所編『社会福祉改革論Ⅰ・Ⅱ』(仲村優一)

第20巻 第4号 (1985. 3)

<研究の窓>

社会福祉「改革」のとき(三浦文夫)

<論文>

所得源泉別にみた所得分配の不平等(跡田直澄・橋木俊詔)

アメリカにおける無拠出制老齢年金の生成(藤田五一)
社会福祉と距離——老人と家族の「共存」を求めて(萩原清子)

<書評>

社会保障研究所編『社会保障の基本問題』(伊部英男)

社会保障研究所編『経済社会の変動と社会保障』(岸功)

社会保障が今日かかえる問題に ILO 報告書はどのように答えているか——ILO 編『社会保障入門』、『社会保障財政: 選択』、『21世紀に向けて: 社会保障の展開』(木村陽子)

<動向>

社会保障費の推計と動向(城戸喜子・武川正吾・木村陽子・都村敦子・曾原利満)

社会保障法判例(堀勝洋)

「季刊・社会保障研究」(第1巻~第20巻)総索引

I. 著者別索引

II. 書評総索引

III. 総目次

別冊: 社会開発特集 1967. 5

別冊「社会開発特集」の刊行に際して

<第1部>

経済開発と社会開発(山田雄三)

地域開発と社会開発(福武直)

経済成長と物価問題(馬場啓之助)

<第2部>

社会開発と教育投資(寺尾琢磨)

社会開発と労働問題(高橋武)

住宅政策の現状と方向(谷重雄)

公害対策の諸問題(橋本道夫)

都市開発と社会計画(伊藤善市)

地域開発——総合開発計画——における福祉計画の現状
(松原治郎)

<第3部>

経済計画と社会保障(中野徹雄)
社会保障の課題と方向——国際動向を含めて(小山路男)

別冊：3周年記念シンポジウム特集 (1968. 5)

別冊「3周年記念シンポジウム特集」の刊行に際して
開会の辞(山田雄三)

<第1部>

社会保障と労働(大河内一男)
社会保障と経済(都留重人)

コメント(鳴田啓一郎)

コメント(富永健一)

コメント(加藤 寛)

一般討論

<第2部>

社会保障の拠出と給付——とくに社会保険を中心として
(小山路男)

社会保障の拠出と給付——イギリスにおける医療保険の
歴史を中心として(小川喜一)

コメント(佐口 韶)

コメント(江見康一)

コメント(地主重美)

一般討論

司会者総括(今井一男)

<付録>

社会保障研究所シンポジウム実施要領・同出席者名簿

<社会保障研究所3年の歩み>

別冊：地域開発と社会保障特集 (1969. 3)

刊行のことば

<第1部>

国民生活の展望と問題点(喜多村治雄)

地域開発と地方行政(宮沢 弘)

地域開発と過疎問題(松原治郎)

地域開発と農業問題(並木正吉)

<第2部>

地方財政と社会保障(林 栄夫)

わが国年金制度の現状と課題(平田富太郎)

わが国医療保障の現状と課題(佐口 韶)

地域保健対策の現状と課題(橋本正巳)

公害対策の現状と課題(橋本道夫)

<第3部>

地域計画ケース・スタディ I——茨城県・神奈川県

I 鹿島開発について

II 神奈川県における社会福祉計画の問題

地域計画ケース・スタディ II——大阪府・岡山県

I 大阪府における総合計画の問題点

II 岡山県における広域生活圏の構想

コメント

別冊：地域計画と社会保障 (1970. 5)

刊行のことば

<第1部>

総合開発計画(下河辺淳)

地域計画論(伊藤善市)

地域開発論(松原治郎)

地域開発調査(蓮見音彦)

<第2部>

財政と社会保障(江見康一)

年金制度の現状と課題(安藤哲吉)

医療保障の現状と課題(小山路男)

社会保障の国際動向(高橋 武)

<社会保障統計>

別冊 (1971. 7)

刊行のことば

<社会保障研究基礎講座>

社会開発の再考(青井和夫)

財政と社会保障(肥後和夫)

医療保障の問題点(佐口 韶)

年金制度の問題点(安藤哲吉)

地域計画における公害対策(猿田勝美)

公害対策の現状と課題(山本宣正)

<社会保障研究所シンポジウム>

経済福祉と社会福祉

レポート(中鉢正美)

コメント(江見康一)

コメント(地主重美)

一般討論(司会: 福武 直)

社会福祉における公私問題

レポート(1)(仲村優一)

レポート(2)(一番ヶ瀬康子)

コメント(阿部志郎)

コメント(三浦文夫)

一般討論(司会: 鳴田啓一郎)